

第3回「長野県公共交通活性化協議会 松本地域別部会  
地域公共交通分科会」議事概要

日時:令和7年12月22日(月)10時から12時まで

場所:松本合同庁舎 502号会議室

## 1 開会

## 2 あいさつ

### 【企画振興課長】

長野県松本地域振興局企画振興課長の松島と申します。

本日は年末のお忙しいところ、第3回の分科会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、地域公共交通の維持確保につきまして、それぞれのお立場でご尽力いただいていることに改めて御礼を申し上げます。

本日は、先日お送りさせていただきました資料の通り、10月に開催しました第2回目の分科会に引き続きまして、松本地域での保証すべきサービス品質や信州型広域バス路線支援制度の適用の可能性がある路線等について、2月に開催を予定しております松本地域別部会での県地域公共交通計画松本地域編の協議に向けまして、ご検討ご議論をいただきたいと考えております。

地域別部会の前の最後の分科会となりますので、ご意見ご質問など忌憚なくいただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 3 会議事項

### 【進行】

(1) 松本地域における保証すべき品質について

ア 品質保証における考え方(資料1・P3)

【交通政策課】

(資料に沿って説明)

<意見、質問等なし>

イ 松本地域におけるサービス品質(資料1・P4～5、資料2)

【事務局】

(資料に沿って説明)

<意見、質問等なし>

(2) 信州型広域バス路線支援制度の適用について

ア 松本圏域における幹線及びみなし幹線について(資料1・P7)

【事務局】

(資料に沿って説明)

<意見、質問等なし>

イ 山形線について(資料1・P8～15)

【事務局】

(資料に沿って説明)

【中信地区高等学校長会】

結論的にはご提案の通りでよろしいかと思えます。それでちょっと補足しておきますと、やっぱり私立高校さんは個別の事情というか個別の事案になりますので、そこまで対応をお願いするのはなかなか現実的には難しいかなと思えますので、色々ご配慮いただいて感謝申し上げますが、ご提案のような形で、もうこれはここまでしかお願いできないのかなというふうに思えますので、また引き続きよろしくお願ひしたいと思えます。

【交通政策課】

今ご議論いただいた通りで特段問題ないと思っております。冒頭説明申し上げたように、やはり生活圏にあった移動が確保できていれば支障ないと考えておりますので、今回こういった形で信州型広域の対象路線で特段問題ないと考えております。

<異議なし>

ウ 鹿教湯温泉線について(資料1・P16～18、松本市作成資料1)

【松本市】

(資料に沿って説明)

【事務局】

(資料に沿って説明)

【交通政策課】

今回、品質保証に向けてダイヤの見直しをしていただきまして大変感謝しております。信州型の路線への適用でも路線の見直しというのを要件にさせていただいておりまして、品質を確保するために最適な路線になっているかというのは非常に重要な視点だと思っております。今回ダイヤを見直しいただいて、病院での滞在時間というところで現状はあまりバスでの利用は多くはない状況かもしれませんが、これによって利用が増えることも期待できるので、信州型の思想に取り組みをしていただいていると思っております。

また、今後はダイヤの改正でどのぐらい利用が増えるのかを PDCA といいますか、部会や分科会の方でモニタリングしていただくことも重要かと思っておりますので、引き続きそうした視点もお持ちいただきながらやっていただければと思います。

<異議なし>

エ 塩尻北部線について(資料1・P19～21、塩尻市作成資料)

【塩尻市】

(資料に沿って説明)

**【SCOP】**

(資料に沿って説明)

**【事務局】**

(資料に沿って説明)

**【交通政策課】**

この路線、説明があった通り鉄道との路線の重複というか並行は一応あるかとは思いますが、松本圏域では通院は300m圏内を品質として掲げていただいておりますので、それを保証するためにはやっぱりこの路線がないとってという説明は十分理解できるものかと思っておりますので、こちらについても信州型の思想に沿うものと言って問題ないかなと思っております。

<異議なし>

オ 犀川線について(資料1・P22～29)

**【事務局】**

(資料に沿って説明)

<異議なし>

カ 朝日広丘線について(資料1・P30～37)

**【事務局】**

(資料に沿って説明)

**【交通政策課】**

こちらについては特に問題ないかと思っております。準幹線として圏域拠点に行く唯一の路線というところで、必要性を十分理解できますので問題ないかと思っております。

<異議なし>

キ 松本地域における広域拠点・圏域拠点・地域拠点の目的施設及び接続の現状について  
(資料2)

ク 地域拠点(市村交通結節点)から地域拠点(通院・高校・観光地)への接続状況(資料1・  
P38~41)

【事務局】

(資料に沿って併せて説明)

【企画振興課長】

一点修正のお願いでございます。資料2の表中、通院の14番、鹿教湯病院ですが、ダイヤ見直しを行っていただきましたので、品質保証を満たす路線の有無が△になっているんですが、○ということで修正をお願いいたします。

<意見、質問等なし>

(3) 松本地域編の更新(案)について(資料3)

【事務局】

(資料に沿って説明)

<異議なし>

(4) 路線バス(E支線)の廃止について(資料4、松本市作成資料2)

【事務局】

(資料に沿って説明)

【松本市】

(資料に沿って説明)

【事務局】

まつもと医療センターを経由している平田村井線ですが、他の市町村から鉄道を利用して村井駅に来たときに、まつもと医療センターまで行く手段の一つであったということで

ございますが、寿台線それから村井山形線で十分村井駅からまつもと医療センターまで繋いでおり、品質が保たれていることを確認しましたので報告させていただきます。

<意見、質問等なし>

(5) 来年度の利用促進・啓発活動について(別紙1、別紙2)

【事務局】

(資料に沿って説明)

【企画振興課長】(補足)

今回、地域振興局の方で実施しましたデジタルスタンプラリーですけれども、実施期間が8月から10月で、その間この分科会を開催できなかったものですから、皆様にPR等のお願いもできずに、ほぼ振興局のみで実施したこともありまして、元々デジタルスタンプラリーというものが通常車で回るというようなところがあって、路線バスに乗っていただくということでハードルもちょっと高い事業かなと思っていましたけれども、周知という面ではやはり広がりかけたので、決して多いとはいえない参加者数であったのではないかと考えております。

ただこちらのアンケートを見ますと、デジタルスタンプラリーというのが観光という切り口で行えば、非常に地域内の皆さんも地域の再発見ができたという意見もあって、一定の有効な手法だなと気づきました。

またデジタルスタンプラリーに主体的に参加していただいた皆様は、このパンフレットや取組みへの参加を通じて、地域公共交通の維持・確保について、これをきっかけにして関心を持っていただける、そういうきっかけになったのではないかと考えております。

来年度も地域別部会として引き続きこの難しい利用促進について、本当に皆様もいろんな取り組みをやっていらして非常に難しいことだと思っておりますが、粘り強く行政として働きかけていきたいということと、皆様からのご意見で、観光客とか普段使っていない方というよりは日常使っていただける方を増やしていく。やはり日常使っていただきたい方、継続的な利用を促していけるような取り組みが良いんじゃないかということで、そういった観点で来年はこの地域別部会の皆様と一緒に広く取り組んでいただけるような取り組みを考えていきたいと思っておりますので、個別にご相談差し上げることもあるかと思っておりますが是非よろしくお願ひしたいと思ひます。

また、何かこんな取り組みが良いじゃないかっていうものがございましたら、お寄せいただければ幸いに考えております。よろしくお願いいたします。

<意見、質問等なし>

4 その他

(なし)

5 閉会